

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

月刊 同友

やまがた

11

November
2024

山形県中小企業家同友会



2024年度新入社員フォローアップ研修



よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす
中小企業経営者の全国組織

2024年度スローガン

自社の存在意義を問い直し、
地域と共に豊かな未来へ

半年間を振り返り、成長につなげよう



10月2日、社員共育委員会主催の新入社員フォローアップ研修が開催されました。会場の流通団地会館には、新入社員29名と経営者・先輩社員23名の総勢52名が集まりました。

冒頭、庄司 薫社員共育委員長が「新入社員研修から今日でちょうど半年。半年間で感じたことや仕事への思いを語り合い、これからどんな社会人になりたいか目標を持って欲しい。明日からの仕事に活かせるよう、協力して進めていきましょう」と挨拶を述べ、研修が始まりました。新入社員の体験報告は城北電気工事(株) 清野 奈津美さん、(株)東北テレネット 岡本 里紗さんが担当しました。



半年の振り返りから未来を描く

講義は(株)セルヴァン 代表取締役 東海林 武氏よりお話をいただきました。4月の新入社員研修で行った講義の振り返りをしたのちに、「半年前と同じ話でも、この半年間を踏まえて感じ方が全く変わっているのではないでしょ

うか。それが経験値です。今日はぜひその経験を語り合ってください」と経験とアウトプットの重要性を語りました。

そして、この半年間で得た楽しいこと、嬉しいこと、悩みや失敗などの様々な経験を全て財産として捉えて掘り下げることで、自分の得意なことや強みを知り、伸ばすことができると述べました。もし自分に強みがないと思っているならば、周囲の人に聞き、外から見た強みを通じて自分を知ることから始めようと勧めました。

その上で、どのように自分の強みを深め、未来を描いていけばよいのかについて、東海林氏は「目標からのバックキャスト(逆算)」を提唱しました。数年後の「ありたい自分」に向けて、必要な要件と自分の強みを掛け合わせることで、将来のあるべき自分の姿を具体的にイメージできるようになります。人間は原則として現状の安心できる状態から動くことにストレスを感じるものの、未来のビジョンを自分にとって安心できる状態だと捉え、それを達成できると信じることで、モチベーションに変えていると語りました。

最後に東海林氏は「半年間を振り返り、自分の強みを探し、様々な意見を踏まえて未来の目標に落とし込み、明日からの仕事に活かしてください」とまとめ、エールを送りました。

全ての経験が財産になる

グループ討論では「仕事は楽しいですか？」をテーマに、半年間の経験や感じたことを話し合い、失敗や成功による

学びや仕事で意識していたことなどを共有しました。

午後にはお互いの課題や目標について「知識要件」「技能要件」「どんな社会人になりたいか」の三つの切り口から話し合い、一人ひとりが壇上で決意表明を行いました。

最後に、座長の平形氏がまとめとして「本日は自身の成長を振り返り、夢や目標を語り合っていたいただいた。この半年間、悩んだこともあったかと思う。しかし、全ての経験が

財産であり、それは仕事を通して会社の、ひいては地域や社会の財産になる。がむしゃらに働いて、ふと何のために頑張っているのかわからなくなる時も、目標設定をしていれば、当初の目的を思い出し、また成長できる。皆さんが明日から更にご活躍できることを願っています」とメッセージを送り、閉会となりました。

城北電気工事(株) 清野 奈津美さん



私は城北電気工事(株)で、主に個人宅の調査と工事を行っています。入社からの半年間で私が意識したことは、確認と挑戦です。私たちの扱う電気は生活に欠かせないものであり、同時に危険なものでもあります。そのため、工事の際には必ず声がけして確認を行っています。部品を持ってこよう頼まれた時も、必ず部品名を復唱しています。また、分からないことがあれば、必ず質問するようにしています。まだまだ覚えきれていない部分はありますが、少しずつ覚えて

いきたいと思います。次に、挑戦した経験についてお話しします。7月末に配電の研修を受けた際、私は高い場所が苦手だったため、最初は怖くて作業が出来ませんでした。繰り返し挑む中で慣れていき、次第に作業が楽しくなってきました。研修が終わる頃には、練習用の一番高い電柱まで登り、作業することが出来ました。それからは最初から無理だと決めつけず、まずやってみようようにしています。女性の電気工事士は少なく、現場に行くと褒められることがあり、それがやりがいになっています。電気工事士として一人でも多くの人の生活を明るく照らせるよう頑張っていこうと思います。まだまだ未熟な部分もありますが、少しでも多くのことを任せてもらえるよう頑張っていきます。

いきたいと思います。次に、挑戦した経験についてお話しします。7月末に配電の研修を受けた際、私は高い場所が苦手だったため、最初は怖くて作業が出来ませんでした。繰り返し挑む中で慣れていき、次第に作業が楽しくなってきました。研修が終わる頃には、練習用の一番高い電柱まで登り、作業することが出来ました。それからは最初から無理だと決めつけず、まずやってみようようにしています。女性の電気工事士は少なく、現場に行くと褒められることがあり、それがやりがいになっています。電気工事士として一人でも多くの人の生活を明るく照らせるよう頑張っていこうと思います。まだまだ未熟な部分もありますが、少しでも多くのことを任せてもらえるよう頑張っていきます。

(株)東北テレネット 岡本 里紗さん



(株)東北テレネットはネットワーク、電気、電話等の工事を行っている会社で、私は東根市にある本社で作業員として働いています。高校生の時、学校の教室に通信設備が整えられたことをきっかけに電気通信に興味を持ち、作業員に憧れて入社しました。現在は現地調査をはじめ、電子機器や情報機器の設置工事、電話線工事など幅広い工事を担当しています。入社してから三か月間は職業訓練校に通い、先輩や上司からご指導いただきながら、第2種電気工事士に合格することができました。新入社員研修では、失敗を恐れずに行動することと、新入社員は沢山失敗して学びを吸収すべきだということを教わったので、先輩社員から新しいことを「やってみるか」と聞かれた時、遠慮せずに作業に挑戦するようにしています。実際に働くことで、作業員の仕事は工事だけではないことにも気づきました。資料作成や点検、アフターサービスなど、お客様が安心して電気やネットワークサービスを利用していただけるようにすることが仕事なの

です。入社当時はミスばかりだった作業が段々出来るようになり、時にはお客様から感謝の言葉を頂けるようにもなり、日々やりがいと成長を感じています。今はまだ体力に余裕もなく、覚えることも沢山ありますが、電気工事士としての知識や技能をしっかり身に着けて、数年後には情報通信の施工や保守点検を出来るようになりたいです。そのためにも、第一種電気工事士と情報通信系の資格取得を考えています。業務と学習の両立を目指し、社会人としても一人の大人としても成長していきたいです。現場に出るとお客様や同業者の方から「女性で電気工事士ですか、珍しいですね」とお声がけいただくことがあります。これから、女性だからではなく「あなただからこの仕事を任せたい」と思ってもらえるように頑張っていきたいです。

です。入社当時はミスばかりだった作業が段々出来るようになり、時にはお客様から感謝の言葉を頂けるようにもなり、日々やりがいと成長を感じています。今はまだ体力に余裕もなく、覚えることも沢山ありますが、電気工事士としての知識や技能をしっかり身に着けて、数年後には情報通信の施工や保守点検を出来るようになりたいです。そのためにも、第一種電気工事士と情報通信系の資格取得を考えています。業務と学習の両立を目指し、社会人としても一人の大人としても成長していきたいです。現場に出るとお客様や同業者の方から「女性で電気工事士ですか、珍しいですね」とお声がけいただくことがあります。これから、女性だからではなく「あなただからこの仕事を任せたい」と思ってもらえるように頑張っていきたいです。



第52回青年経営者全国交流会in宮崎 開催

9月19～20日、中同協・第52回青年経営者全国交流会が「集え！変革者～日本のひなたから照らす未来～」のローガンのもと宮崎で開催され、全国から約2000名が参加しました。山形からは10名が参加し、分科会や記念講演を通して共に学びました。

今回、参加したお二人からレポートをいただきましたのでご紹介させていただきます。



(株)セルヴァン 代表取締役 東海林 武氏

今回の青全交では、「自主・民主・連帯の精神」について改めて理解を深めるきっかけとなり、この精神を企業経営に具体的に落とし込むイメージを得られたことが大きな収穫でした。

私が参加した分科会は「あかいし文庫」特別例会で、イベントの加藤会長とウメイチの梅田社長が報告されるということで、お二人とも一度山形で報告を行っていただいた方々のお話でしたので、前回の報告内容をさらに深掘りするという個人テーマで臨み、赤石さんが書かれた本を基に進められたパネルディスカッションは、非常に多くの気づきをもたらしました。

特に「歴史を学ぶことの重要性」「経営者のいきざま」そして「自主・民主・連帯の精神を自社経営に落とし込み実践することが他社との差別化につながる」という3点が、私にとってすぐに実行し、さらに深掘りすべき課題だと感じました。また、同友会の歴史を振り返ると「戦後復興の担い手として中小企業の役割はきわめて大きい」ことから誕生し、先輩経

営者達が今までの課題において多くの徹底的な議論が繰り返され、そのエッセンスや叡智の結集が同友会の書籍に集約されていることに気付きました。21世紀型中小企業づくりを目指す議論がすでに30年以上も前から行われていたという事実も知り、歴史から経済の見通しを学ぶ重要性を強く感じました。この点は、これまで私自身があまり意識してこなかった部分であり、大きな学びとなりました。

さらに、赤石さんの言葉にある「同友会とは生きざまを学ぶ場所」という考えに触れ、自主・民主・連帯の精神の理解と実践がまだ足りていないと痛感しました。

私自身、直接赤石さんにはお会いしたことはありませんが、我々のような青年経営者だからこそ「人を生かす経営の総合実践」を行う重要性を改めて認識をしましたので山形同友会のメンバーにも共有し良い企業づくりを共に行っていきたいと思います。

(有)スエヒロ 代表取締役 平形 洋司氏

「社員の自主性と共育ち」

青全交の分科会にて、「社員は自主的に働いていますか？」というテーマで活発な議論が交わされました。

特に印象的だったのは、ある参加者の方の体験談です。社長は、社員との親睦を深めるためにバーベキューを企画する際、自ら買い出しや火起こしなど、ほぼ全ての準備を担ってしまうそうです。しかし、この参加者の方によると、「社長がやるべきことは、社員に『買い出しは誰が行きますか？』と問いかけ、自主性を促すこと」であり、「社員が自主的に動いていないのは、全て経営者の責任」と力説されていました。

この体験談から得られた学びは大きく二つあります。

1. 社員の自主性を育むことの重要性: 社員が自ら考え、行動できる環境を作ることは、組織全体の活性化に不可欠です。

2. 経営者と社員、それぞれの学びの重要性: 経営者は、社員の成長を促すための指導者としての役割を担う一方、社員は自ら学び、成長していく姿勢が求められます。

また、この体験談を通して、社員との信頼関係がいかに重要であるか改めて認識しました。

今回の研修で得られた学びを胸に、自社の課題解決に繋げていきたいと思っています。



学内合同企業説明会開催



2024年9月18日(水)、山形大学キャリアセンターと大学生協との共催で、合同企業説明会(会場:山形大学小白川キャンパス基盤教育3号館1階)を開催し、会員企業16社が参加、学生34名が来場しました。

これまで山形大学キャリアセンターとは緊密に連携し学内説明会等のイベントを開催してきましたが、今回は大学生協も含めた三者共催で開催し、連携して企画作りや集客に取り組みました。今回の大きな特徴の一つが、大学生協の協力のもと軽食を準備し、座談会のような形式で企画したことです。終始和やかな雰囲気の中で交流するイベントとして設営されました。

当日は、山形同友会 佐藤啓共同求人委員長(㈱サニックス 代表取締役)、山形大学キャリアセンター長 松坂暢浩教授、山形大学生協学びサポートプラザ 遠藤理沙店長の挨拶と各企業のPRの後、企業説明会がスタート。事前予約者のみならず、その活況を見た学生の飛び入り参加もあるなど会場が大いににぎわう中、学生、経営者、採用担当がおやつや昼食を食べながら熱く語り合いました。本編終了後のフリースタイルタイムも多く、学生が参加するなど、最後までに温かい雰囲気に包まれたイベントとなりました。

参加者アンケートの結果では、学生の満足度は93.1% (大変満足、満足の合計割合)と高く、「中小企業の規模感ならではの良さを少人数でお話を聞くことでより実感でき

た」「やりがいを知ることができて興味が格段に増した」「ホームページを閲覧するだけでは得られない情報を得られた」など、対面で語り合えたからこそその感想が多くありました。参加企業からも「オープンカンパニーに参加したいという学生が複数いた」「インターンシップの問い合わせがあった」「当社の業種について理解を深めてもらった」など、学生の企業への興味関心が高まったことがわかるコメントが寄せられました。

今回の説明会はこれまでの学内合説を大幅にリニューアルした新しい試みでしたが、多くの学生、企業が参加し、学生にとっては県内の中小企業で働く魅力について深く理解する機会、企業にとっては自社・業界・地域・中小企業の良さを伝えるとともに学生の意識を知る場となりました。

山形同友会共同求人委員会は、今年度『共育ち実践活動』の輪を広げ、人と企業と地域を育てよう!』のスローガンを掲げ、地域教育機関との連携を進め、学内での企業説明会、セミナー、インターンシップ等に取り組み、単なる採用にとどまらず、若者が輝く企業づくり、地域づくりに総合的に取り組んでいます。

今後も共に育ちあう関係を社内、企業間、地域連携へ広げて、若者が残り、活躍できる山形づくりに取り組んでまいります。人材採用や定着に取り組みたい、すでに取り組む企業と学び合いたいという会員の皆様のご参加をお待ちしております。

第6回理事会報告

◆日時: 2024年10月9日(水)午後3時00分~午後4時50分 ◆会場: TISカンファレンスルーム ◆議長: 阿部副代表理事

◆出席者: (敬称略)川合、菅原、後藤(智)、阿部、庄司、伊藤、大江、長谷川、東海林、後藤(康)、飯野、菊池、武内、小寺、前盛、志田、井田、鎌水、平形、佐藤(奈)、事務局矢作、芳賀、青木、上遠野

■開会挨拶

後藤代表理事より「新入社員フォローアップ研修に参加して、新入社員の話から想像以上にめいっぱい、じっくり育てなければならぬと改めて感じた。様々な社会の動きを捉えるため、同友会を含めた多くの学びの場へ出向いていくことが非常に重要」と挨拶がありました。

■学習会

菊池理事より、副業・兼業の通算される労働時間などについての解説がありました。

■報告事項

- 1)北海道・東北ブロック支部長・地区会長交流会9/12~13(秋田)15名
後藤代表理事より「農業法人へのお誘い、他団体でも同友会の良さを伝える活動、入会者全員に委員会・部会参加を呼び掛ける事例、支部例会に参加しづらい方のためにゴルフや懇親の場、シニア会などの居場所づくり、支部でのガイドブック作成の報告もあり、たくさんの素晴らしい取り組みを知り、有意義な交流会だった」と報告がありました。
- 2)青年経営者全国交流会9/19~20(宮崎)10名
東海林理事より「第19分科会「あかいし文庫特別分科会」でエイベックス(株)加藤氏と(株)ウメイチ梅田氏が「労使見解」継承と創造というテーマでパネルディスカッションを行った。自主・民主・連帯の精神をいかに自社経営に入れ込むかについて、書籍を参考に階層ごとの理解を深めていくことが重要という提起があった。同友会の学びを深めることで、よい経営者、よい会社、よい経営環境へとつながることを実感できた」と報告がありました。
- 3)2024年度9月月次報告
矢作事務局長より報告がありました。
- 4)2024年度9月月次決算報告
矢作事務局長より報告がありました。

■承認事項(入・退会承認) 5名入会 2名退会 493名

■討議事項

議題1: 会員増強の取り組みについて

- 1)組織委員会の報告
菅原代表理事より、置賜支部と庄内支部で同友会を知る会を開催して入会につながったことを確認し、11月の経営研究会へゲスト参加を積極的に募っていくと申し合わせたことについて報告がありました。その後、10月23日の金融学習会への参加呼びかけ、2月にDX学習会、3月には国の中小企業に対する支援制度についての学習会、1月24日の委員会合同例会では人を生かす経営の実践を(株)パラマウント代表取締役社長の粕川氏(宮城同友会)がお話する予定と報告がありました。
- 2)11月会員増強月間の取り組みについて
菅原代表理事より、経営研究会へゲストをお誘いする呼びかけがありました。
- 3)同友会を知る会の予定

日	時	会場	歴史と理念	体験報告
10月28日(月)	14:00	同友会事務局	後藤代表理事	齊加義三
11月11日(月)	13:00	同友会事務局	後藤代表理事	秋葉卓哉
12月19日(木)	14:00	同友会事務局	後藤代表理事	大江藤之

- 4)行政の入会について
例会に参加した行政の職員より入会希望があったことから入会資格の検討が行われ、継続審議することになりました。

議題2: 第21回経営研究会について

後藤理事が、参加申込状況と藤田建設工業(株)を訪問し打ち合わせを行った報告をした後、「自分の地域が衰退したらどうなるか」「衰退した地域の中で自社はどうか」という問いかけをして誘っていただきたいと協力を呼びかけました。
続いて伊藤理事が「地域への強い想いを持っている藤田会長より、地域課題と事業をどのように結び付けているか、企業連携に必要な考え方、地域の若者の採用の取り組みなどの実践を報告していただき、グループ討論では「あなたが地域のためにできることは何ですか?」と題して自らが地域にできることを考える機会にしていく」と報告がありました。

議題3: 2025新春交流会について

武内理事より2025新春交流会について、各支部へ2名の実行委員選出の依頼がありました。

議題4: 各委員会より

- 1)経営指針委員会

東海林理事より経営姿勢確立セミナーの参加申込状況を報告後、10月28日の説明会への参加呼びかけがありました。

2) 社員共有委員会

・新入社員フォローアップ研修 10/2 18社52名(内受講者29名)
庄司理事より入社時からこれまでを振り返り、3年後の目標設定を行う内容で、東海林氏より目標設定の大切さについてお話しいただき、午後には討論を行い参加者それぞれが目標設定を行ったことの報告がありました。

3) 共同求人委員会

・山形大学学内企業説明会 9/18 参加企業16社、学生34名参加
前盛理事より「9月上旬に行われた低学年プレインターンシップも含め、今回の活動が各社の採用につながって欲しいと思う」と報告がありました。

4) 地域活性化委員会

川合代表理事より2024年度山形大学連携授業開催要項について説明があり、参加の呼びかけがありました。

議題5: 行政・他機関・団体からの依頼について

- 1)公正取引委員会との懇談会について
川合代表理事より、12月11日にTISカンファレンスルームに於いて開催することが提案され、承認されました。
- 2)やまがた社会共創プラットフォームより
川合代表理事よりリカレント教育に関する経営者向けアンケート結果の報告がされた後、第1回やまがた共創塾~経営者向け人材育成セミナー~について紹介がありました。
- 3)第55回中小企業問題全国研究会(愛媛) 参加目標について
2025年2月6日~7日に愛媛で開かれる第55回中小企業問題全国研究会の参加目標を5名とすることを承認しました。

■その他

- 1)今後の予定について
・10月10日(木)経営指針をつくる会プレ発表会 (TISカンファレンスセンター)12:30~
・10月16日(水)中同協第2回幹事会(Zoom)13:00
・10月19日(土)第2回未来創造ワークショップ10:00
・10月22日(火)~23日(水)中同協役員研修会(北海道)
・10月23日(水)~24日(木)北海道・東北ブロック事務局長会議(北海道)
・10月23日(水)金融セミナー(TISカンファレンスセンター)15:00~
・10月28日(月)経営姿勢確立セミナー説明会 (TISカンファレンスセンター)15:00~
・11月7日(水)東北ブロック青年経営者フォーラム(秋田)
・11月14日(木)~15日(金)人を生かす経営全国交流会(長崎)
・11月18日(月)第21回経営研究会(ホテルメトロポリタン山形)
・11月20日(水)2024年度幹部社員研修第3講(山形ビッグウィング)13:30~
・11月21日(木)経営指針をつくる会第5講 (TISカンファレンスセンター)9:00~
・11月25日(月)経営姿勢確立セミナー第1講15:00~
・12月12日(木)~13日(金)全国事務局長会議(東京)
・12月14日(土)経営指針をつくる会発表会 (TISカンファレンスセンター)13:00~
・12月20日(金)経営姿勢確立セミナー第2講15:00~
・12月20日(金)北海道・東北ブロック事務局員研修交流会
・1月10日(金)~11日(土)中同協第3回新春幹事会(東京)
・1月11日(土)北海道・東北ブロック代表者会議(東京)
・1月16日(木)~17日(金)第2回中同協協賛労働委員会(東京)
・1月18日(土)2025新春交流会(ほほえみの宿滝の湯)
・1月24日(月)委員会合同例会(TISカンファレンスセンター)14:00~
・1月27日(月)経営姿勢確立セミナー第3講15:00~
- 2)今後の理事会日程について

第7回常任理事会	11月6日(水)16:00	第7回理事会	11月13日(水)15:00
----------	---------------	--------	----------------

■閉会挨拶

長谷川理事より「今年から共同求人委員会に参加し、経営者が動けば会社が変わっていくということを実感している。色々な変化があり忙しい中ではあるが、積極的に参加し活動していきたい」と挨拶がありました。

新会員紹介

たぐち けんいち
◆ 田口 謙一氏
(株)KOEI 営業管理本部部长
建物の空調・水回りの設計施工
山形支部

かなざわ かずき
◆ 金沢 和樹氏
(株)ミツイ 代表取締役社長
福祉事業 飲食事業等
山形支部

会員変更

●(有)やなぎ美容室
代表取締役 柳勇夫氏
⇒ 代表取締役
佐藤裕子氏
(庄内・鶴岡支部)

きくち まなぶ
◆ 菊池 学氏
(株)菊池技建 取締役
建設業
山形支部

ほり たえ
◆ 堀 多恵氏
パラダイス 代表
飲食業
庄内・酒田支部

まるやま ともや
◆ 丸山 友也氏
(株)SMILE PEACE 代表取締役
デザイン制作
庄内・酒田支部

同友やまがた11月号 (2024年11月1日発行/通巻380号)



〒990-2161 山形県山形市大字漆山字大段1865-5 TISビルディング201
TEL (023) 615-8302 FAX (023) 615-8304
URL: <https://yamagata.doyu.jp/> E-mail: info@yamagata-doyu.jp